

会 議 要 旨

会議の名称	第3回川越市子どもサポート本部会議
開催日時	令和7年2月21日（金）午後6時00分～7時30分
開催場所	川越市役所東庁舎2F 教育委員会室
議長氏名	松本紀美子（子ども会育成団体連絡協議会）（進行：大牟田副課長）
出席者	原田正則（小学校長会）、吉田基（中学校長会）、築嶋秀幸（PTA連合会）、松本紀美子（子ども会育成団体連絡協議会）、佐藤保雄（自治会連合会）、山下正雄（青少年を育てる市民会議）、谷川輝之（中央地区サポート委員会）、奈良明英（中央南地区サポート委員会）、田中幸二（南古谷地区サポート委員会）、山田幸次（大東地区サポート委員会）、小峰肇（霞ヶ関地区サポート委員会）、金子晃（霞ヶ関北地区サポート委員会）、美代川幸雄（名細地区サポート委員会）、中島利一（山田地区サポート委員会）、羽生田奈々絵（中央図書館長）、 計15名
欠席者	遠藤克弥（東京国際大学）、鈴木誠（中央北地区サポート委員会）、山下由利子（芳野地区サポート委員会）、新井哲夫（古谷地区サポート委員会）、斉藤修（高階地区サポート委員会）、奥山征司（福原地区サポート委員会）、井川一行（川鶴地区サポート委員会）、小熊政彦（中央公民館長）、中里良明（博物館長） 計9名
事務局職員	新保正俊教育長、吉野地域教育支援課長、大牟田副課長、金田指導主事、野原主査、小池主任、吉田社会教育指導員
傍聴者	なし
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告・確認事項 (1) 令和6年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について【資料1】 (2) 令和6年度専門部会報告【資料2】 4 協議事項 (1) 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」 ・展示会について ・表彰式について (2) 令和7年度子どもサポート本部会議年間予定（案）【資料3】 (3) 来年度に向けて各地区情報交換 ・各地区現状・課題

	5 諸連絡 ※(3)、(4)については各地区子どもサポート委員長のみ配付（封筒） (1) 令和7年度 第1回川越市子どもサポート本部会議の開催について （5月中旬を予定。正式に決まり次第連絡） (2) 川越市子どもサポート本部委員推薦書・承諾書 【資料4、5】 ※(3) 令和7年度川越市子どもサポート事業担当者説明会の開催について （報告㍻4/2） ※(4) 子どもサポート事業実施団体確認書について（報告㍻4/2） (5) その他 6 謝辞 7 閉会
配付資料	資料1 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展報告、表彰式報告、作品展観覧者感想 資料2 令和6年度本部会議専門部会報告 資料3 令和7年度子どもサポート本部会議年間予定（案） 資料4 川越市子どもサポート本部委員推薦書 資料5 川越市子どもサポート本部委員承諾書

会 議 録

1 開会【吉田副本部長】 ○本日は、遠藤本部長が所用により欠席 2 あいさつ【新保教育長】 3 報告・確認事項 (1) 令和6年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について 【資料1】 ○資料1に基づいて事務局より報告（特に、今後の課題について取り上げて報告） ○来年度については、表彰式の会場は博物館視聴覚ホールを想定している。 ○表彰式を最終日の日曜日に開催することも検討している。（教育長、本部長の都合次第） (2) 令和6年度専門部会報告 【資料2】 ○資料2に基づいて事務局より報告 ○柱1について（イメージ図については来年度第1回の本部会議でも確認する。） ○柱2について（各地区の活動の見直し） ○柱3について（公民館の役割） ○次年度の専門部会のテーマは「公民館と各地区子どもサポート委員会の関わり方について」「発表会に代わる、川越市子どもサポート事業の啓発活動について」の2本とする。

4 協議事項

(1) 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」

・展示会について

○特に意見、質問はなし。

・表彰式について

○表彰式も美術館への移動もスムーズであった。

○初めての開催方法であったので、ドタバタした部分があったのは仕方がない。課題は次回に生かせばよい。

○各地区の発表の負担がなくなったのはよかったが、子どもサポート事業の認知度を上げるといふ点では逆行している。

○市長賞を設けるなど、市長さんの出番が欲しい。

○自分たちはボランティアなのだから、こどもたちのためにできることをやればよい。こどもたちからのうれしい声だけで十分である。

○子どもサポートに多くの人に関わってほしいから広めたい。

○人材の掘り起こしのためにも認知度を上げたい。

○すぐーるのタイムラインという機能を活用して、保護者に広報、啓発している学校もある。学校だよりに掲載している学校もある。

○自治会の回覧を活用するとよいのではないか。しかしながら、回覧は極力減らしていくという現状もある。

○各学校のPTA広報紙を活用してはどうか。しかしながら、広報紙自体が減ってきている現状もある。

○子どもサポート委員会だよりや広報紙を発行している地区もある。

⇒【事務局より】広報活動については次年度の専門部会のテーマの一つになっている。また、各地区子どもサポート委員会が、学校と協力して広報活動を工夫していくとよい。次年度、引き続き一緒に考えていきましょう。

(2) 令和7年度子どもサポート本部会議年間予定（案）

【資料3】

○特に意見、質問はなし。

(3) 来年度に向けて各地区情報交換

・各地区現状・課題

中央：本日、中央地区の広報紙を配付。活動内容を紹介。

中央南：自治会や保護者への声かけをして、ボランティア登録が増えてきた。コロナで減ったところを復活させることができた。

南古谷：ある学校から事業を平日にしてほしいという要望があったが、その対応は難しいと考えている。

大東：子どもフェスティバルを日曜実施に変更したい。

霞ヶ関：委員の高齢化、減少が課題。公民館だよりで募集したがあまり集まらない。粘り強く募集を続けていく。

霞ヶ関北：フェスティバルを小学校ごとに別々に関催。それぞれ、120名、80名ほどのこどもが参加。タイトルに「あそび」という言葉を加えて、子どもあそびフェスティバルに改名。親子特に父親の参加が目立った。学校の先生の参加はなしにした。

名細：ミシンボランティアが成果があった。委員会の組織を変えていく。あて職のモチベーションを上げる工夫。高齢者との接点を増やす工夫。公民館登録団体への声かけ。

山田：藍染め、ホタル、まが玉。人数制限をして募集。貴重な体験を提供している。校長先生も参加してくれている。

事務局：本日配付の報告書（案）について、気が付いたことがあれば事務局へ。

5 諸連絡 ※(3)、(4)については各地区子どもサポート委員長のみ配付（封筒）

(1) 令和7年度 第1回川越市子どもサポート本部会議の開催について
（5月中旬を予定。正式に決まり次第連絡）

(2) 川越市子どもサポート本部委員推薦書・承諾書 【資料4、5】
○封筒の中の承諾書にEメールの項目が抜けていた。資料5の方で提出してください。欠席者には正しいものを郵送します。
○来年度より、委員からの要望があれば、Eメールの添付で様々な文書を送るようになる。

※(3) 令和7年度川越市子どもサポート事業担当者説明会の開催について（報告㍻4/2）

※(4) 子どもサポート事業実施団体確認書について（報告㍻4/2）

(5) その他

6 謝辞【吉野課長】

7 閉会【吉田副本部長】